

2019年5月吉日

福山・府中・尾道・三原市の
障がい福祉事業所関係者・保護者 各位

発起人 (社福) 創 樹 会	西山 堅太郎
(社福) アンダンテ	池田 正則
(社福) にこにこ福祉会	瀬良 京子
(社福) 白 鷺	林 誠
(社福) 「ゼノ」少年牧場	渡辺 博愛

「障がいのある人たちの働き方を支える」を考えるセミナー開催のお知らせ

1. 開催の趣旨

昨今、A型事業所による大量解雇の問題、中央官庁等における雇用率の水増しなど、障がいのある人の「働く」や「働き方」が揺らいでいます。これらは私たち支援者にとっては決して無関係・蚊帳の外のことではなく、いわば障がいのある人たちの「働く」をどのように捉え、支えていくのかについて、改めて私たち支援者に問いかけてられているものと言えます。

このような中、広島県内において障がいのある方々の「働き方」や「働く」を今以上に安心し、豊かなものにできるよう、関係各位が共に学び合う機会を設けてはどうかと考え、標記のセミナーを企画いたしました。

つきましては本開催要項をご確認いただき、セミナーへの積極的な参加を発起人一同ここにお願い申し上げます。多数のご参加をお待ちしております。

2. 開催概要

本セミナーの概要は下記のとおりです。

- 2019年度から3年程度を目安に実施していきます。
- 年度ごとに全4回程度のプログラム構成で学んでいきます。
- 実施時期は毎年度6月、8月、11月、1月を予定しています。
- 開催日時はすべて土曜日の14:00～17:00です。
- 各回のセミナー開催前に、その回の開催要綱を送付して告知と参加募集をいたします。
- 参加については連続性を持ったプログラムとしておりますので、すべての回に参加していただければ幸いです。(同一の事業所からプログラムごとに違う職員の方が参加という形も大丈夫です)

3. 開催形式

東京学芸大学教育実践研究センターの菅野敦教授が提唱される「障がいのある人たちの働く力を伸ばす、働き方を支えるための7つの支援ステップ」を中心に学習します。菅野先生をお招きしての講義、それを踏まえた自事業所や利用者の方を想定した演習・発表、参加者間でのディスカッションなどを行いながら参加者全員で学んでいきます。

4. 開催場所

福山市内の会場で行います。基本は福山駅周辺とし、各回のご案内の際にお知らせ致します。

5. 参加対象者と定員

■ 障がい福祉事業所職員・利用されている方の保護者

主に就労移行、就労継続支援 A 型、B 型、生産活動を行う生活介護事業所を想定していますが、これに限りませんので多数ご参加ください。

■ 定員

毎回最大で 100 人程度まで（希望者多数の場合、参加調整やお断りをする場合があることをあらかじめご了承ください）

6. 資料代

■ 各回 500 円（当日、会場の受付でお支払いいただきます）

7. プログラムの概要

大枠でのプログラムは下記のとおりです。詳細は各回のご案内の際にお知らせいたします。

- ① 障がいのある人の「活動」や「働く」の意義・意味について考える
 - ② 生涯発達支援と地域生活支援における 4 領域について
 - ③ 障がいのある人たちの働く力を伸ばす、働き方を支えるための 7 つの支援ステップ
 - ④ 支援 Step1：仕事（作業種）を決める
 - ⑤ 支援 Step2：仕事（作業種）の提供の仕方を決める（作業工程分析・動作分析）
 - ⑥ 支援 Step3：利用者のアセスメント
 - ⑦ 支援 Step4：利用者の仕事（役割）を決める
 - ⑧ 支援 Step5：仕事の環境作り（効率的な作業動作・工程ライン）
 - ⑨ 支援 Step6：利用者へのアプローチ（技能・能力・対人関係の向上、情緒の安定など）
 - ⑩ 支援 Step7：仕事に向かう態度
 - ⑪ ④～⑩に関する自事業所・利用者を想定した演習・発表・ディスカッション
- ※ 特に④～⑩については、しっかりと時間を取って取り組みます。

8. スーパーバイザーのご紹介

■ 東京学芸大学教育実践研究センター：菅野 敦（かんのあつし）教授

■ 所属等

日本発達障害学会理事長、日本発達障害支援システム学会会長、日本特殊教育学会会員

■ 著書・論文等

「障害児者の理解と教育・支援」、「社会就労センターハンドブック」、「障害者職業カウンセラー重度知的障害者の生活に関わる支援課題に関する研究」、「成人期知的障害者の障害福祉サービスにおける一般就労へ向けた支援内容の分類」など多数

以 上

2019年5月吉日

福山・府中・尾道・三原市の
障がい福祉事業所関係者・保護者 各位

発起人 (社福) 創 樹 会	西山堅太郎
(社福) アンダンテ	池田 正則
(社福) にこにこ福祉会	瀬良 京子
(社福) 白 鷺	林 誠
(社福) 「ゼノ」少年牧場	渡辺 博愛

2019年度 第1回「障がいのある人たちの働き方を支える」を考えるセミナー

1. 開催日時

2019年(令和元年)6月29日(土) 14:00~17:00

2. 会 場

RiM-f(リム・ふくやま)9階 セミナールームA(福山市西町5-22)

3. プログラム

① 障がいのある人の「活動」や「働く」の意義・意味について考える(イントロダクション)

14:00~14:30

物事には「意義=Why=なぜそれをするのか?」と「意味=What=その言葉が表すものは何か?」があります。この2つの言葉をもとにしながら、なぜ、このセミナーを企画したのかを参加者全体で共有します。そして、本セミナーの中心となる、障がいそのものや児童期の教育・成人期の支援の在り方について多年に亘って研究と実践を進めて来られ、特に近年は障がいのある人の「働く」について注力されていらっしゃる東京学芸大学教育実践研究センターの菅野先生のプログラムに繋げていきます。

② 生涯発達支援と地域生活支援、障がいのある人の「働く力」を伸ばすための7つの支援ステップについて(講義:菅野先生)14:30~17:00(途中休憩を設定)

以下の4点について菅野先生にご講義いただき、障がいのある人のライフステージやその中の「活動」「働く」の捉え方、そして、第2回から本格的に参加者で取り組んでいく7つの支援ステップの全体像について学んでいきます。

- ① 時代や法制度の中で、障がいのある人の「働く」や「活動する」は、どのような変遷や位置づけとなってきたのか?
- ② 今、障がいのある人の「活動」や「働く」のために支援者に求められていることは何か?
- ③ 生涯発達支援と地域生活支援の4領域について(かかわる、学ぶ・楽しむ、暮らす、働く)
- ④ 「働く力」を伸ばすための7つの支援ステップについて

4. 参加定員

最大で100人まで

5. 資料代

500円(会場の受付でお支払い下さい。領収書が必要な方はお申し出ください。)

6. 申し込み・お問い合わせ先

- 別紙「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、下記の宛先までメールもしくはFAXにてご返信ください。

- (社福) 創樹会 法人本部 (担当: 山本) E-mail jimu@soujukai-fukuroku.or.jp
TEL: 084-956-0255 FAX: 084-956-5749
- 申し込み締切日: 2019年(令和元年)6月24日(月)